

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月31日

上場会社名 日東紡  
 コード番号 3110 URL http://www.nittobo.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 南園 克己  
 問合せ先責任者 (役職名) 企画本部経営企画部部長 (氏名) 小林 直哉  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

上場取引所 東大

TEL 03-3514-3810

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	62,314	—	2,911	—	2,930	—	1,007	—
20年3月期第2四半期	68,288	1.0	5,642	10.3	5,532	8.6	3,576	95.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	4.08	—
20年3月期第2四半期	14.47	—

※当期より「四半期財務諸表に関する会計基準」等に基づき財務諸表を作成しているため、当期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	150,133	74,712	48.6	295.37		
20年3月期	156,148	75,928	47.3	298.83		

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 72,990百万円 20年3月期 73,859百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	136,000	△0.4	6,500	△36.7	6,500	△36.5	3,500	△41.0	14.16

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	247,677,560株	20年3月期	247,677,560株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	561,291株	20年3月期	516,963株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	247,138,601株	20年3月期第2四半期	247,200,187株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、本資料の2ページに記載の【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

**【定性的情報・財務諸表等】**

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱と、原油や原材料価格の高騰などによる企業収益の悪化、設備投資の落ち込みや個人消費の低迷などの要因により、景気後退色を強めながら推移しました。

繊維事業は、個人消費の落ち込みによる衣料品販売不振の影響で低調に推移しましたが、高付加価値品の拡販やコストダウンを進めたことから、前年同期比で減収・増益となりました。

建材事業は、景気の先行き不透明感から住宅着工戸数が低調に推移したほか、企業収益の悪化を背景に非居住用途の販売も低調に推移し、原燃料価格高騰の影響も受け、前年同期比で減収・減益となりました。

グラスファイバー事業は、前半は比較的堅調だった電子材料向けも、後半からは市況の悪化で軟調となり、建築・住宅機器向けはマンションの販売不振などの影響により引続き低調に推移したことから、前年同期比で減収・減益となりました。

その他の事業は、消費の低迷や競争の激化はありましたが、新規顧客の開拓や新商品の開発を進めたことから、前年同期並みに推移しました。

その結果、日東紡グループの売上高は623億14百万円、営業利益は29億11百万円、経常利益は29億30百万円、四半期純利益は10億7百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 財政状態（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

当第2四半期末における総資産は1,501億33百万円となり、前連結会計年度末と比較して60億15百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の減少などです。

負債は754億21百万円となり、前連結会計年度末と比較して47億98百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少、法人税等の支払による未払法人税の減少などです。

純資産は747億12百万円となり、自己資本比率は48.6%と前連結会計年度末に比べ1.3ポイント上昇しました。

## (2) キャッシュ・フローの状況（平成20年4月1日～9月30日）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益18億94百万円や減価償却費29億83百万円、たな卸資産の増加額21億54百万円、法人税等の支払額24億円などにより16億44百万円の資金が減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得20億40百万円、投資有価証券の取得10億75百万円などにより31億59百万円の資金が減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の純減少額1億13百万円、配当金の支払額9億91百万円などにより11億46百万円の資金が減少しました。

これらの結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は128億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ59億57百万円の資金が減少しました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、米国発の金融不安や株価の下落を背景とした設備投資の落ち込みや個人消費の一層の冷え込みによる景気の減速、為替の動向、さらには原材料・燃料価格の動向など引続き予断を許

さない状況にあります。付加価値の向上と徹底したコストダウンを図ることにより、収益の確保に努めてまいります。

平成20年5月13日の期末決算発表時に公表した予想は変更しておりません。

#### 4. その他

##### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

##### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### ①簡便な会計処理

###### 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

###### 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

###### 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

###### ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

##### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ68百万円、税金等調整前四半期純利益は427百万円減少しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

(追加情報)

平成20年度の法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間から主として機械装置についての耐用年数の見直しを行い、一部の固定資産について耐用年数の変更を行っております。

これにより、減価償却費は99百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ同額減少しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

## 5. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

	(単位：百万円)	
	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	13,293	19,084
受取手形及び売掛金	37,789	40,220
製品	11,143	10,361
原材料	1,549	1,438
仕掛品	3,722	3,449
貯蔵品	10,993	10,086
繰延税金資産	2,489	2,252
短期貸付金	21	171
その他	1,742	1,507
貸倒引当金	△114	△116
流動資産合計	82,630	88,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,780	16,230
機械装置及び運搬具(純額)	13,307	12,896
土地	18,020	18,029
建設仮勘定	1,029	980
その他(純額)	1,260	1,156
有形固定資産合計	49,399	49,292
無形固定資産	1,935	1,751
無形固定資産	1,935	1,751
投資その他の資産		
投資有価証券	10,585	11,109
長期貸付金	28	34
繰延税金資産	3,908	4,127
その他	1,864	1,583
貸倒引当金	△219	△204
投資その他の資産合計	16,168	16,649
固定資産合計	67,503	67,693
資産合計	150,133	156,148

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,246	21,854
短期借入金	4,253	4,680
1年内返済予定の長期借入金	6,738	7,241
未払金	2,885	2,134
未払法人税等	951	2,789
未払消費税等	123	185
繰延税金負債	21	57
賞与引当金	2,043	2,253
事業構造改善引当金	110	110
その他	4,195	4,318
流動負債合計	40,570	45,626
固定負債		
長期借入金	15,216	14,403
退職給付引当金	13,166	13,011
修繕引当金	3,700	3,989
繰延税金負債	153	169
その他	2,612	3,018
固定負債合計	34,850	34,593
負債合計	75,421	80,219
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	23,062	23,062
利益剰余金	29,549	29,523
自己株式	△125	△115
株主資本合計	72,185	72,169
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,170	1,704
繰延ヘッジ損益	24	—
為替換算調整勘定	△389	△14
評価・換算差額等合計	804	1,689
少数株主持分	1,721	2,069
純資産合計	74,712	75,928
負債純資産合計	150,133	156,148

## (2) 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)	
当第2四半期連結累計期間	
(自 平成20年4月1日	
至 平成20年9月30日)	
売上高	62,314
売上原価	47,351
売上総利益	14,962
販売費及び一般管理費	12,051
営業利益	2,911
営業外収益	
受取利息	26
受取配当金	191
持分法による投資利益	227
受取賃貸料	91
為替差益	112
その他	232
営業外収益合計	882
営業外費用	
支払利息	259
退職給付会計基準変更時差異の処理額	285
その他	318
営業外費用合計	864
経常利益	2,930
特別利益	
固定資産売却益	9
貸倒引当金戻入額	17
その他	42
特別利益合計	69
特別損失	
固定資産処分損	269
投資有価証券評価損	462
たな卸資産評価損	359
その他	12
特別損失合計	1,104
税金等調整前四半期純利益	1,894
法人税、住民税及び事業税	561
法人税等調整額	297
法人税等合計	859
少数株主利益	28
四半期純利益	1,007

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	
当第2四半期連結累計期間	
(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,894
減価償却費	2,983
引当金の増減額 (△は減少)	△541
売上債権の増減額 (△は増加)	2,392
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,154
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,376
その他	△419
小計	779
利息及び配当金の受取額	229
利息の支払額	△252
法人税等の支払額	△2,400
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,644
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△2,040
固定資産の売却による収入	35
投資有価証券の取得による支出	△1,075
その他	△79
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,159
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△421
長期借入れによる収入	5,900
長期借入金の返済による支出	△5,591
配当金の支払額	△991
その他	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,146
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,957
現金及び現金同等物の期首残高	18,840
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,883

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。



## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	繊維事業 (百万円)	建材事業 (百万円)	グラスファイバー事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	5,239	23,110	26,557	7,407	62,314	—	62,314
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	29	676	349	308	1,364	(1,364)	—
計	5,268	23,787	26,906	7,715	63,678	(1,364)	62,314
営業利益又は営業損失 (△)	304	△318	2,272	1,019	3,277	(366)	2,911

(注) 1 製品の種類、性質、製造方法、販売方法等の類似性、損益集計区分及び関連資産等に照らし、事業区分を行っております。

## 2 各事業の主な製品

- (1) 繊維事業 …… コアスパン糸、ストレッチ製品、芯地製品、二次製品
- (2) 建材事業 …… 不燃吸音天井板、ロックウール製品、グラスウール製品、  
床材、プラント、音響エンジニアリング
- (3) グラスファイバー事業 …… グラスファイバー製品、電子関連材料、FRP採光板
- (4) その他の事業 …… メディカル、清涼飲料水、スペシャリティケミカルス、ビル賃貸業、  
スポーツ施設運営、保険代理業

## 3 会計方針の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

【定性的情報・財務諸表等】 4 (3) ②に記載の通り、通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

この変更に伴い、従来の方によった場合に比べて、「繊維事業」は営業利益が4百万円減少しております。「建材事業」は営業損失が16百万円増加しております。「グラスファイバー事業」は営業利益が40百万円減少しております。「その他の事業」は営業利益が7百万円減少しております。

## 4 追加情報

【定性的情報・財務諸表等】 4 (追加情報)に記載の通り、平成20年度の法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間から主として機械装置についての耐用年数の見直しを行い、一部の固定資産について耐用年数の変更を行っております。この変更に伴い、従来の方によった場合に比べて、「繊維事業」は営業利益が7百万円減少しております。「建材事業」は営業損失が76百万円増加しております。「グラスファイバー事業」は営業利益が15百万円減少しております。「その他の事業」は営業利益が0百万円減少しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## 【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	アジア	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高（百万円）	7,746	1,204	777	207	9,936
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	—	62,314
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	12.4	1.9	1.2	0.3	15.9

（注）1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……………中国、台湾、韓国等
- (2) 北米……………アメリカ、カナダ
- (3) 欧州……………ドイツ、イギリス、ロシア等
- (4) その他の地域……………中南米、アフリカ、オセアニア等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 「参考資料」

前年同四半期にかかる財務諸表

## (1) (要約) 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前中間連結会計期間 〔自 平成19年4月1日〕 〔至 平成19年9月30日〕
		金額
I	売上高	68,288
II	売上原価	50,676
	売上総利益	17,612
III	販売費及び一般管理費	11,970
	営業利益	5,642
IV	営業外収益	941
	1. 受取利息	70
	2. 受取配当金	108
	3. 持分法による投資利益	334
	4. その他	427
V	営業外費用	1,051
	1. 支払利息	318
	2. 退職給付会計基準変更時差異償却額	287
	3. その他	444
	経常利益	5,532
VI	特別利益	1,021
	1. 固定資産売却益	693
	2. 修繕引当金戻入益	311
	3. その他	16
VII	特別損失	670
	1. 固定資産処分損	167
	2. 環境整備費用	498
	3. その他	3
	税金等調整前中間純利益	5,883
	法人税、住民税及び事業税	1,931
	法人税等調整額	240
	少数株主利益	135
	中間純利益	3,576

## (2) (要約) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	期 別	前中間連結会計期間 〔自 平成19年4月1日〕 〔至 平成19年9月30日〕
		金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益		5,883
減価償却費		2,755
売上債権の減少額		1,464
たな卸資産の増加額		△ 705
仕入債務の減少額		△ 1,595
その他(純額)		327
(小計)		8,129
法人税等の支払額		△ 2,361
構造改善に伴う支出		△ 252
その他(純額)		△ 122
営業活動によるキャッシュ・フロー		5,393
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出		△ 2,378
固定資産の売却による収入		777
その他(純額)		21
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,579
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増加(△減少)額		△ 1,063
長期借入れによる収入		700
長期借入金の返済による支出		△ 2,300
親会社による配当金の支払額		△ 741
その他(純額)		△ 35
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 3,440
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		56
V 現金及び現金同等物の増加額		429
VI 現金及び現金同等物の期首残高		20,370
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高		20,799

## (3) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

(単位：百万円)

	繊維事業	建材事業	ガラスファイバー 事業	その他の事 業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	6,007	26,023	28,865	7,392	68,288	—	68,288
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	23	211	371	255	862	(862)	—
計	6,031	26,234	29,236	7,648	69,150	(862)	68,288
営業費用	5,778	25,554	25,230	6,628	63,191	(545)	62,646
営業利益	252	680	4,006	1,019	5,959	(317)	5,642